

職場適応を促進するための 相談技法の開発

ジョブコーチ支援における
活用に向けて

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター



はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、気分障害等の精神疾患により休職中の方々の職場への再適応を支援し、離職の防止と雇用の安定を図るための精神障害者職場再適応支援プログラム（JDS P : Job Design Support Program）、発達障害者のワークシステム・サポートプログラム、高次脳機能障害者の職場復帰支援・就職支援プログラムを実施し、就職や復職に向けて必要となる各種スキルの付与等の支援の実践を通じて、効果的な支援技法の開発に取り組んでいます。

当センターでは、これまでにJDS Pを通じて開発してきた、生活習慣やストレス対処等の職場適応を促進するための支援技法を基に、様々な疾患、障害のある方に対するジョブコーチによる相談支援場面で活用しやすいように改良を加えたものを「職場適応を促進するための相談技法」として本支援マニュアルに取りまとめました。

民間企業での障害者の雇用者数（令和5年6月1日）が20年連続で過去最高を記録するとともに、障害者の雇用の促進等に関する法律の改正（令和4年12月）により、雇用の質の向上に向けて職業能力の開発及び向上に関する措置が事業主の責務として追加されたこともあり、障害者の雇用の量的な促進だけでなく、個々の職場における課題解決や障害者本人のモチベーションの維持・向上につながる相談の実施等、職場定着を支える支援がますます必要とされることを見込まれます。

本マニュアルが様々な機関での障害者及び事業主への就労支援において活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和6年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 那須 利久